

◆通所介護ナイス・デイ◆訪問介護ナイス・ケア◆小規模多機能型居宅介護ナイス・ホーム◆住宅型有料老人ホーム愛宕の家◆有料職業紹介つしま紹介所◆学童・託児ナイス・キッズ◆喫茶てのひら



発行元：株式会社サポート・ワン・サービス
愛知県津島市愛宕町四丁目113 〒496-0036
代表TEL：(0567) 26-3921
FAX：(0567) 26-3922
ホームページ <http://www.s-o-s.co.jp>

《12月予定》

- 10日 外食DAY
- 12日 甚目寺（打太鼓）
- 15日 バルーンアート
- 20日 避難訓練
- 23日 クリスマス&誕生日会
- 30日 餅つき
- 31日 大晦日

《不定期行事》

天気や意欲等で状況判断し、
外出先一覧を参考に社会生活に参加します。

《利用状況案内板（☆募集中 ★満員）》

☆ナイス・ケア **利用者さん大募集!**

☆ナイス・デイ（定員 10名/日）

日	月	火	水	木	金	土
7	7	8	7	7	8	7

☆ナイス・ホーム（定員 25名、登録者 20名）

☆愛宕の家（定員 17名中入居者 15名）

☆つしま紹介所 ☆ナイス・キッズ

★打太鼓

～上記を参考にご利用下さい～

研修を活かす/愛宕の家

先日、『難聴の理解』という研修を受けてきた。内容は主に老人性の難聴について。加齢にしたがって高い音が聞こえにくくなるとか、ハンカチを口に押し当てて話しているように聞こえるなど、音声を使ったりして興味深い話も聞くことが出来た。

ある日の夕食後のひと時、口腔ケアも終わり少し眠そうにしていた A さんに「もうベッドに行く？」とスタッフが尋ねた。すると A さんは「あたしゃ、大根なんか食わないわよ！」と答えた。どうやら A さんの頭の中では、『ベッドに行く？』→『大根食う？』と変換されたらしい。

研修を終えたばかりだったこともあり、「これ！！これなのだ！！」と実感した。ひとつひとつ聞くと思わず吹き出してしまう聞き間違いもあったりするが、本人は至って真剣。また、耳が遠い方は、何度も聞き直すことが悪いと思うのか、面倒なのか、聞こえたふりをして何にでも返事をしてしまう事が多い。

やがては自分も進む道。2 時間程度の講義だったが、自分の言動を見直すきっかけになった。もちろん、耳の遠い方にはなるべく低い声を意識するようになったのは言うまでもない。(K.T)



終末期を家族と共に悩んで/看護師

心不全を患い余命 1 年と診断され入居した S さん。先月、終末期の過ごし方に対する想いをご家族に確認したとき『このまま愛宕の家での看取りを希望しています。でも、その時になって“やっぱり病院へ”と言ってしまうかもしれない・・・。』と息子さんが話してくれました。

愛宕の家では、“看取り”を希望される方が多い中、私自身は看護師としての責任の重さにいつも悩みながらその気持ちにどう応えたら良いのか、またどのように寄り添えるのか模索する日々を過ごします。

入居して 1 年半が過ぎた 12 月、嘔吐や下痢の症状が表れてからは、主治医と連携を取りながら、胃瘻からの栄養量を調整して過ごす日が続きました。12 月 4 日、昨日まで力強かった S さんの力が急に弱くなり、主治医から家族に対し現状説明がありました。翌 5 日は思いがけず落ち着いていましたが、12 月 6 日早朝、眠るように息を引き取ってしまいました。

看護師としては“愛宕の家での看取り”なのか“医療機関への搬送（最期）”なのかいつも迷います。病状の変化と共に私の精神状態はまさに戦闘態勢に突入していくという緊張の連続・・・。

葬儀の時、息子さんの奥さんが「実は、4 日に先生から状況説明を聞き、本人の静かな顔を見て『あの時になってやっと覚悟ができた。』と主人が話していたんです。」と話していたことを聞かされました。

看取りの後いつも思う、「これで良かったのだろうか」という私の胸のつかえが取り除かれました。

S さん、S さんの息子さん、そしていつも色んなことを気にかけてくださった息子さんの奥さん、本当にありがとうございました。S さんのご冥福を心よりお祈り致します。(M. T)

M氏逝く/愛宕の家

愛宕の家を開所して半年後に入所された M さんが 11 月 13 日に逝ってしまいました。

大好きなゴルフへ出掛けようと車に乗り込む足取りがおかしくなり受診。『脳幹梗塞』と診断され、即入院。軽い認知症状もあり夜も目が離せず家政婦の付き添いを利用した。退院と同時に“愛宕の家”へ入居して 7 年数ヶ月。

昼夜通して、いつ何処であろうが自販機のボタンのように押しタバコを探した。持病の足の痛みがひどく鍼灸治療院にも通いながら昼夜見守りを続けた結果、いつの間にか施設の介護者が『お母ちゃん』となった。帰宅願望が強く『何でオレがここにおるんだ？』と過去と現実が繋がらずずっと不可解なままだった。がいつの頃からか“愛宕の家”を自分で自分の店と思込ませることで自分の居場所として納得させてきたのだと思う。

経営者としての能力にも優れていた M さんは几帳面で清潔好き。大根の千切りや柿の皮むきは誰よりも上手だった。その上、周囲に困った場面があれば『オレが何とかしてやる！』と男気と優しさを兼ね備えた格好良い紳士だった反面、不安になるとお母ちゃんを探し『オレ何だか訳が分からん』と落ち着かない。その都度ゆっくりと成り行きを説明するがまたすぐに忘れてしまう・・・今思えば、その繰り返しの 7 年間だったと思う。家族や友人も面会の度に優しく見守るしかなかった。

今年 5 月頃から体調不良が始まり足の痛みと不安で混乱し夜も眠れなくなって精神的なパニック状態に時々陥った。病状的には医療機関への入院を視野に入れたが『何処にも行かん。ここ（愛宕の家）におる。頼む・・・頼むな・・・あんたに任せる。』と看護師に訴えた。その気持ちに家族も納得していた。『最期までここがいい』という彼の気持ちに看護&介護職員そして医師や薬剤師が協力し、状態に合わせた対応を心掛けた。逝ってしまう数日前、「調子はどう？」と尋ねると、『お母ちゃんか？ご飯は美味しく食べとる。大丈夫、大丈夫』と V サインして微笑んでくれた。最期まで格好良かった彼の最終ステージである 7 年間に関わらせていただけたことに感謝します。M さん、ありがとう。(Y. I)



笑顔で楽しく/ナイス・デイ

私がデイで利用者さんと過ごす時間は午前中が多いので、単純なことです。毎回、笑顔と一緒に体を動かせるような関わりを持ちたいと思っています。

実は、私は夫の介護や自分の体調不良で休職した期間があります。今では平日の朝～昼頃までを中心に介護職として復帰することができるようになりました。

自分なりに勉強した体操、ボールを使用して身体を動かすなど、車イスの人にも動きやすいように工夫しています。初めて勧める運動はコツが掴めなくても何度か一緒に動くとうまくなります。出来るようになる瞬間には、私が参ってしまうほどの笑顔を見ることが出来ます。ワイワイキャアキャアと賑やかに声を出していると『ほれっ、こんなに足が上がった♪』『以外に手は伸びんもんだなあ〜』と体の動きを意識した会話も広がります。

昔ながらの遊び方には、途端に『あれや、これや。』と満面の笑みで次の会話が始まります。こんな風に利用者さんも自分も苦しい中にも笑顔がある。私は、介護の仕事が大好きです。この仕事に戻りたいと思った根本は絶対にそこですね。(N. K)

介護者の支援も/ナイス・ケア

N さん宅の訪問は、介護者である夫が「すまんね」と自分の頭をなでながらヘルパーを迎えてくれることで始まる。

足の不自由な奥さんに代わり、家事をこなし、奥さんの介護してみえる夫。

80 歳を過ぎてから始めたという家事。ご飯が炊けると「上手に炊けた」と自画自賛してみえた。奥さんもヘルパーと一緒に喜んだ。週末は息子さんが在宅なので、それ以外の平日は、デイサービス・ヘルパーなどを利用し、泣きも笑いもされながら奥さんとの在宅生活を送っていた。

ある日、夫が体調不良を訴え入院。その 3 日後、突然の逝去。奥さんと共に夫の入院にびっくりしている間に逝ってしまった。

夫の介護負担は軽減できていたのだろうか・・・本音は聞いていただろうか・・・もっと踏み込んだ関わりを持ったほうが良かったのだろうか・・・自分に問いかける。

『老老介護』めずらしい事ではない。“大変”の中にも笑顔があり、少しでも心の中を打ち明けてもらえるヘルパーになりたいと思う。(H. A)

社内実技指導/S・O・S

11 月は口腔ケアの指導とトイレ介助の現状把握を行いました。中でもトイレ介助は男女問わず、誰でもどんな状態になっても最後までお世話になりたくないケアの代表格。

トイレの声掛けタイミングは適切か？プライバシーの配慮は出来ているか？季節の変わり目で肌寒いこの時期に寒さ対策は出来ているか？「汚れないために」と必要以上に上衣をめぐり上げていないか？便座に座る体勢が安定するように介助できているか？

キャリアパス段位の評価項目に助けてもらいながら実際の介助の際に現状把握できるような事業所を走り回りました！

で...見て回った結果、やはり気になる点は多々。しかし、見事に反省することばかり。今まで一生懸命伝えてきたと思ってきた動作の全て(?)が見事に身につけていない・適切な待つ介護が出来ない現実に直面！！

これって、完全に指導者としての力量不足じゃん！みんなの介助をどうのこうの非難する前に、私の伝え方をどうかしなげや！！伝え方って難しい～(泣)と悲観している余裕はない。あ～あ、現実直視せねば(H. O)

《編集後記》

マイナンバーを記入して会社へ提出する書類が配布された。改めて自分のカードを眺めたけれど、この重要感の全くないマイナンバー通知カード。とりえず個人番号を記入して提出はしてみたものの、この番号＝私というのは気分が良くないものだ。新聞には“受取人不在の返送が 500 万通”あったとか・・・会社での管理、個人での管理は自分たちの責任で何とかしていくとしても、“受取人不在の 500 万通”は国が管理するのか???大丈夫なのかマイナンバー制度と不安になる。今年も残すところ半月です。良いお正月が迎えられますように・・・。(M. T)

4 コマ漫画を描かない期間を作ってしまったことがきっかけとなり飽きてしまった小学 1～中学 2 年生。さて・・・日常の様子を見てもらいましょうか(笑)



教材用ソフトでも名刺を作りスタッフに「僕は○○君です。よろしくお願ひします(照)」と渡して歩くK君です。



T君とSちゃんの誕生会の会場作りをみんなでやりました。



会場設営した後は、誕生日キッズが希望した手羽先料理と手作りバケツゼリーでお祝ひしたよ♪ みんなで食べるとめっちゃ美味しい